

やまびこ賞

3歳・ダート1800m M2
7月12日(日) 盛岡競馬場



tozu

昨年の優勝馬・サンロックンロール

国際東北杯 第39回 やまびこ賞 (M2)

盛岡競馬場3歳オープン・ダート1800m

7月12日(日) 18:05発走

やまびこ賞は1982年、東北新幹線の開通を記念して創設。3歳特別でスタートし、第26回から重賞へ格上げ。当初はダイヤモンドカップのトライアル、2020年は東北優駿トライアルで実施。2021年にはレース体系に再構築により、不來方賞トライアルへ移行。さらに一昨年は不來方賞がJpnIIへ昇格し、それに伴いトライアル・やまびこ賞は1着賞金が700万円へ増額されました。このレースの1着馬にはJpnII・不來方賞の優先出走権が与えられます。

【注目馬情報】

★レジェンドバローズ 牡3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

デビューから圧巻の3連勝を飾り、重賞・ビギナーズカップを7馬身差で圧勝。一躍注目の的となりましたが、ネクストスター盛岡を控えて脚部不安が発生。8ヵ月の休養を余儀なくされました。今年5月に戦列に戻り、ダイヤモンドカップは逃げ一杯5着に沈みましたが、ひと叩きされて動きが一変。続く東北優駿で2歳最優秀馬セイクリスティーナの追撃を完封。高らかに復活を宣言しました。今回は強力なライバルが不在ですし、コース替わり、距離も問題なし。順当に重賞2連勝を飾り、今後に弾みをつけたいところでしょう。

★ブライオン 牡3歳 橘友和きゅう舎・盛岡

昨年2勝2着1回。重賞2戦は着外に終わり、冬期間はテンコートレセン(福島)へ移動。坂路で鍛え直し、スプリングカップ3着、イーハトーブマイル3着。ひと冬を越して成長の跡がうかがえます。東北優駿5着後はテンコートレセンで乗り込んで帰郷。今回のやまびこ賞へ照準をピタリと合わせました。

★ベアコルム 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

中央芝4着2回5着1回から転入。当初は未知のダート対応がネックでしたが、破竹の5連勝中。重賞・ウイナーカップでも牡馬相手に鮮やかな逃げ切りを決めました。初の1800mですが、逃げにこだわらないのが強み。

★サスケベラ 牝3歳 新田守きゅう舎・水沢

門別1勝、船橋1勝から岩手入り。馬券対象から外れたのは4着一度のみ。ほかはすべて3着以上を確保し、抜群の安定感を誇っています。前回快勝でさらに弾みついたのも間違いありません。

★セイウォリアー 牡3歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

福島ダート1700m・2歳新馬戦で5着入線。転入戦2着から2連勝を飾りましたが、4戦目7着。続く一戦で首位を奪回しましたが、2戦着外。集中力の持続が課題ですが、秘める能力は引けを取りません。

★ロジータサンライズ 牡3歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

門別1勝から転入して重賞戦線でも入着を確保。今季初戦のスプリングカップではディオニスの2着と上々の滑り出しでしたが、以降は3着1回が最高。歯がゆいレースが続きますが、一皮むけたいところ。

文／松尾 康司